

地域密着型通所介護「サービス評価」表

運営推進会議実施日	令和6年 3月19日 (火)
開催場所	浅科デイサービスセンター

出席者	8 人	欠席者	1 人
-----	-----	-----	-----

項 目	事業所現況報告と今後の方向性	評価・意見・要望	改善計画
①事業所のしつらえ、環境	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市の指定管理施設（令和2年より令和7年3月まで） ・平成6年に建設され老朽化にて修繕箇所が毎年ある。計画的に修繕を行っている。 ・施設の東側にあるケヤキの木ですが、持ち主の方に許可をいただきできる範囲での枝は切らせていただいている。 ・施設西側の道路が傷んでおり、運転時支障がある。運転手（勝山さん）が随時修繕して下さっている。道路修繕には1,000万近くの経費がかかると言われているため補修材を市よりいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度で市の指定管理を受託しない件について様々なご意見を頂きました。（別紙参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ・前山デイサービスの閉所を参考に、利用者や事業所になるべく迷惑がかからないように進めています。
②事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・長年交流を続けている幼稚園との交流会ですが、昨年度は新型コロナの影響で中止となり、今年度もまだ実施していない状況。また皆さんの意見をお聞きしながら交流できる方向で進めていきたい。 ・ボランティアさん、学生さんの受け入れは6月より少しずつ実施している。在今年度は延べ49名の方にお越しいただいている。 ・移動販売「とくし丸」を月2回利用。 ・地域の理容店さんに依頼し月に2～3名の方が散髪している。 ・隣接する作業所との交流としては、合同の避難訓練を実施している。 ・10月17日には塩名田地区のサロンにお邪魔し寸劇を披露しました。また各地区でご要望などお聞きしながら交流を深めていきたい。 ・オレンジカフェ等のご提案もいただいていたのですが、今後の運営の方向もあり見合わせています。 	意見なし	
③地域に出向いての暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出向いて行くことはなかなか難しいですが、今回のように各地区のサロン等に出向いたりして地域を知ること、デイサービスの運営の中で地域のためにできることを考えていく。 	意見なし	
④運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々のお力をお借りしながら、浅科地域で必要とされるデイサービスにしていきたいと考えている。 ・委員さんからご意見をいただきながら、今地域でどのような事が必要なのか、デイサービスで関わることはあるのか考えていきたい。 	意見なし	

項 目	事業所現況報告と今後の方向性	評価・意見・要望	改善計画
⑤事業所の防災対策、感染予防、食中毒予防対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策については、年2回の避難訓練が義務化されていますが、今年度は2月末からの新型コロナウイルス感染症の蔓延によりまだ1回実施のみです。 ・令和6年2月29日に新型コロナウイルス感染症の一人目が発生し、3月8日までの9日間に職員2名利用者4名の感染者が発生しました。安全な運営が出来ないと判断し2日間休業をさせていただきました。 ・感染対策は新型コロナをはじめ、その他の感染症を防ぐよう日々職員一人一人の心がけと利用者やご家族への指導を徹底していきたい。 	意見なし	
⑥ヒヤリ・ハット事故の再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事故に繋がらない小さな出来事から、職員一人一人が注意していけるようヒヤリハットを記入し回覧している。 ・今後も継続していき、大きな事故を未然に防いでいきたい。 	意見なし	
⑦その他のサービス向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防体操「コグニサイズ」を取り入れたレクリエーションの実施をしている。地域のサロンに職員3名で出向き、コグニサイズの勉強をした。 ・事業所のアピールとして、毎月包括及びケアマネ事業所には事業所の取り組みがわかるお便りを添えて実績を提出している。また、11月発行の社協だより「びーふる」にも活動が掲載されました。 ・最適で職員全員が統一した支援ができるよう、問題解決シートを使い利用者様への対応について職員全員で検討する機会を作りました。 ・本年2月には、社内研修により「接遇」について学びました。勤務年数が長くなってくるとご利用者とも馴れ合いとなり基本的な接遇が忘れがちとなります。最近特に注目を集めている虐待になるのではと懸念する対応もあります。今回はスーパーツールヤ様の教育担当の方にお話しをいただき、サービスの基礎から学び、利用者様と向き合う姿勢を実践しているところです。 	意見なし	